



清須市緑の基本計画

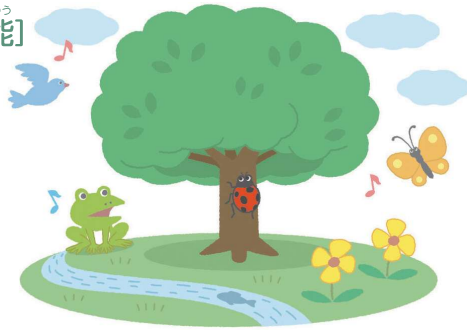
2026 ▶ 2034

緑が大切な理由

➡ 緑は、わたしたちの暮らしにとっても役立っています。

地球の命をまもる

かんきょう ほぜん きのう
[環境保全機能]



住みやすいまちをつくる

レクリエーション機能



まちの安全をまもる

ぼうさい きのう
[防災機能]



美しいまちをつくる

けい かん けい せい きのう
[景観形成機能]



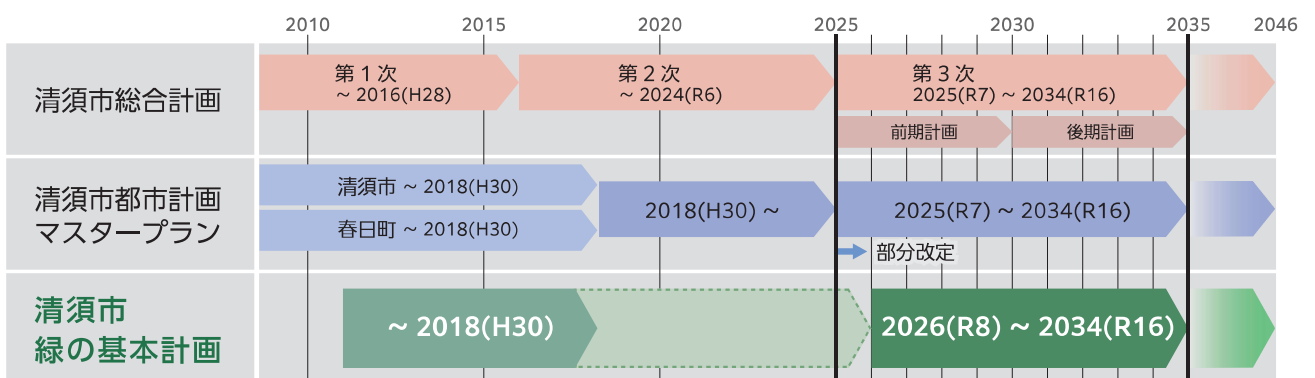
「清須市緑の基本計画」とは…

➡ まちの緑をまもったり、増やしたりするために立てる計画です。

「緑の基本計画」とは、都市緑地法 第 4 条の規定にもとづいて市町村が作る計画で、緑をまもり、増やしていくことを、まちづくりの全体を考えながら、計画的に進めるためのものです。

➡ 清須市では、2034 年を目標として計画を立てました。

清須市では、清須市総合計画（市の大きな計画）、清須市都市計画マスタープラン（まちづくりの計画）と合わせて、2034（令和 16）年をゴールの年とした、新しい緑の基本計画を立てました。



▲ 2009 年 清須市・春日町合併

んだらう？

緑の種類

➡ 緑は、わたしたちの身近にあります。

公園の緑



ネギヤ公園

農地の緑



農地（生産緑地）

川の緑



五条川



あいち朝日遺跡ミュージアム



レジャー農園



庄内川西枇杷島緑地

学校の緑



古城小学校



清洲小学校

神社やお寺の緑



日吉神社



八剣社

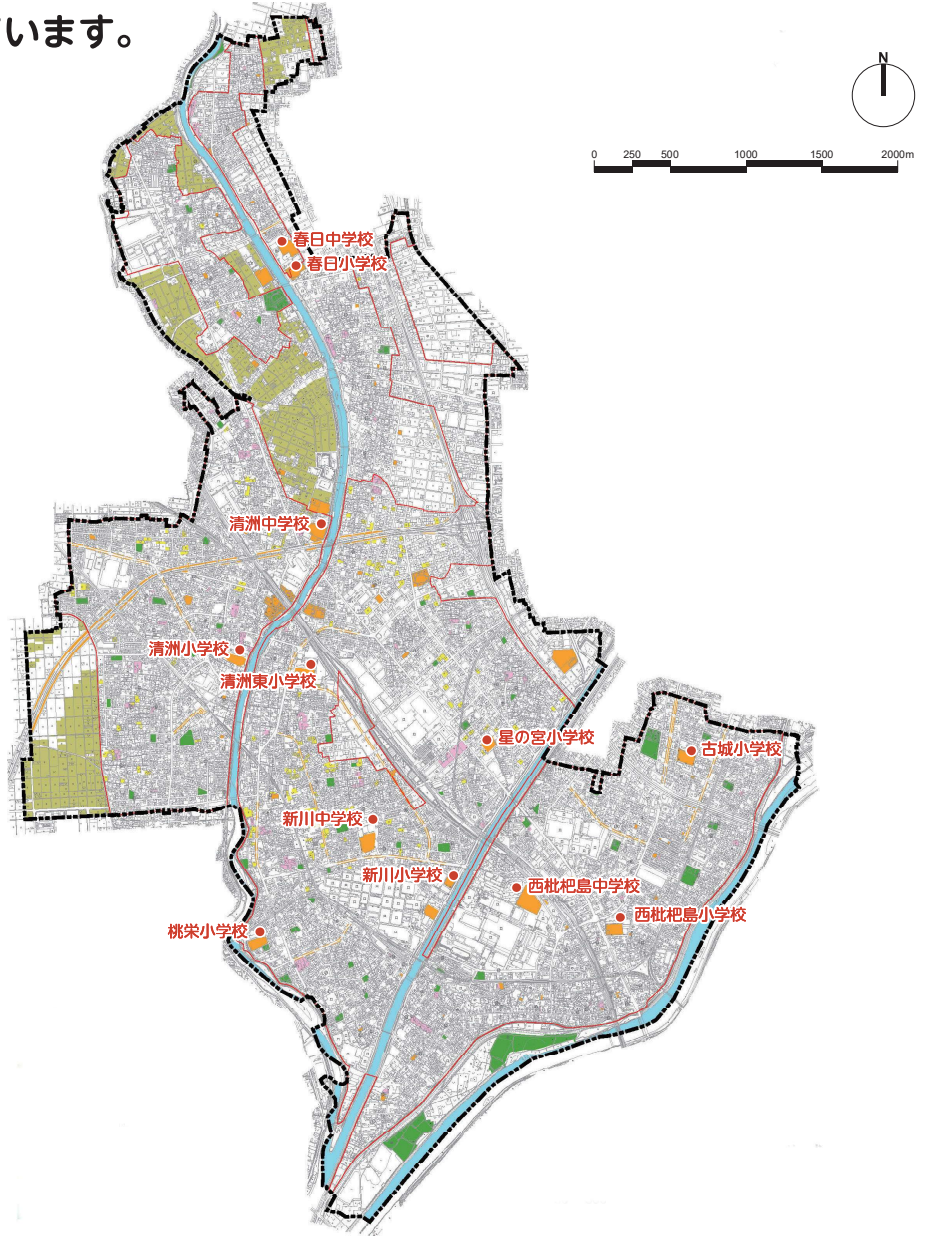
あなたが知っている場所、行ったことのある場所はありますか？
 に✓チェックしてみよう。

清須市の緑の面積

➡ 清須市には、緑地（緑がある場所）が330haあって、市全体の面積の約19%を占めています。

りよくち げんきょうず
■ 清須市の緑地現況図
2024年度

- 市街化区域
- 都市計画区域
- 都市公園
- 公共施設緑地
- 民間施設緑地
- 生産緑地
- 農用地地区
- 河川



清須市の緑地の現況

項目		箇所	面積	市民1人あたりの都市公園面積
施設緑地	都市公園・公共施設緑地	147カ所	55.6ha	8.1m ³ /人
	民間施設緑地	77カ所	14.5ha	2.1m ³ /人
	合計	224カ所	70.1ha	10.2m ³ /人
地域制緑地		145カ所	260.7ha	38.0m ³ /人
緑地 総合計			330.8ha	
市域面積 (ha)			1735ha	
緑地率 (%)			19.1%	

箇所数、面積、市民一人あたりの都市公園面積は、2026年のものです。

あなたの家や学校を見つけて、地図にしるしをつけてみよう。

はどうなってる？



清須市の緑はだんだん減っている!?



➔ 清須市の緑被率^{りよくひりつ}*は、13年前と比べて約4.8%減っています。

■ 清須市の緑被状況図^{りよくひじょうきょうず}
2011年・2024年の重ね図

- 市街化区域
- 都市計画区域
- 2024年度緑被地
- 2011～2024年度の間に消失した緑被地
- 河川

右の図の ■ で示した部分は、2011年から2024年までの間になくなってしまった緑地です。



清須市の緑被率*の変化

緑被率	2011年		2024年		2011年から2024年の 増減量
	区域面積	緑被率	区域面積	緑被率	
市街化区域	1,261 ha	22.0 %	1,261 ha	19.5 %	-2.5 %
市街化調整区域	471 ha	69.6 %	474 ha	58.2 %	-11.4 %
都市計画区域	1,732 ha	34.9 %	1,735 ha	30.1 %	-4.8 %

*：緑被率とは、区域に占める緑被地の割合を示します。緑被地とは、林や草地、農地、川、ため池など、植物の緑でおおわれた場所のことです。

地図をよく見て、なぜ緑が減ってしまったのか想像してみよう。

緑をまもり、増やすために

➡ 清須市の緑をまもり、増やしていくためには、いくつかの課題があります。

川の緑を大切にする …………… 清須市にある庄内川、新川、五条川は、緑がいっぱい大切な場所です。これらの川をきれいに保って、いろいろな生き物が住めるように大切にしていける必要があります。みんなで協力して、自然をまもっていきましょう！

公園や緑地でもっと楽しむ …… わたしたちのまちには、みんなが元気で楽しめる場所や、友達と交流できる場所が必要です。だから緑地をきれいに整えて、自然とふれあえるようにすることが大事です。緑がたっぷりの環境を作って、みんなが楽しく過ごせるようにしていきましょう！

災害から人々をまもる緑を育てる …… 公園や広場の緑には、大雨などの災害から私たちをまもる力があります。こうした緑の育つ場所を上手に使って、みんなの安全をまもる緑のまちを作っていきましょう！

いまある緑を未来に伝える …… いまある公園や広場の緑が古くなってきたら、新しくしたり、しっかりと手入れをしたりして、まもっていくことが大切です。そして、清須市にいる人たちのみんなで、自然がたっぷりのまちを作っていき必要があります。みんなで協力して、未来のために緑をまもっていきましょう！

ポイント

清須市は、愛知県西部における「水と緑のネットワーク」の一部です。

清須市は、愛知県西部の水と緑のネットワークをつなぐ一角を担っています。

『愛知県広域緑地計画』において、とくに庄内川は「県土の骨格を形成する緑地」、庄内川・新川・五条川は「水と緑のネットワークを形成する緑地」と位置付けられており、重要な緑地としてまもり、活かしていくことが求められています。



ちづくりとは？



どんなまちづくりをめざすのか

→ 清須市のめざすまちづくりを と決めました。

「人と自然をつむぎ”緑はぐくむ”まちづくり」

→ めざすまちづくりを進めるために、3つの方針を立てました。

1 いのち はぐくむ みどりをつくる

3つの河川を含む豊かな水と緑がもつ多様な機能を有するグリーンインフラを活用し、人と自然が共に生き、環境に負担をかけない、自然災害にも強い緑のまちをつくります。

2 暮らし はぐくむ みどりをつくる

清洲城や朝日遺跡などの歴史に支えられた緑を大切にし、だれもが快適に暮らせる、地域全体が魅力にあふれる緑のまちをつくります。

3 こころ はぐくむ みどりをつくる

だれもが健康に暮らし、子どもたちの成長を地域で見守る環境づくりを通して、だれもが笑顔になれる緑のまちをつくります。

→ 6つの目標を決めました。

目 標	現況値 2024年		目標値 2034年
① 緑豊かなまちだと思える人を増やす	35.8%	→	45%
② 緑による防災・減災に満足する人を増やす	20.2%	→	35%
③ 1人あたりの緑地の面積を増やす	都市公園の面積 3.8m ² /人	→	4.6m ² /人 8.8m ² /人
	都市公園等の面積 8.1m ² /人	→	
④ 緑をまもる活動に満足する人を増やす	15.8%	→	45%
⑤ 緑の活動を続けたい人を増やす	33.6%	→	45%
⑥ 公園を利用したイベントなどを増やす	70件	→	100件



さまざまなとりくみを展開します

➡ 3つの基本方針に基づいた活動を進めていきます。

いのちをはぐくむ活動

川を軸として 生きものの環境をまもる

庄内川、新川、五条川など多くの生き物のすみかとなっている河川を軸として、生物の生息・生育・繁殖環境や、さまざまな河川の風景をまもり、作り出していくため、利用する市民の声を活かした「多自然川づくり」をめざします。



庄内川西枇杷島緑地

自然とふれあえる 水辺空間の利用を増やす

庄内川・新川・五条川の水辺の散策路は、日常的に自然とふれあえる水辺環境として多くの市民に利用されています。

これからも適正な環境整備・維持管理を行い、水辺環境の利用促進を進めます。



五条川

安心して利用できる 公園をつくる

公園の施設をいつでも安全な状態に保ち、だれでも安心安全に利用できるようにするため、各施設に合わせた改善を行い、利用しやすい公園づくりを進めます。



はるひ夢の森公園

くらしをはぐくむ活動

清洲城を中心に 緑をまもり、増やす

清洲城を中心に、公園や広場などが整備され、人々の憩いの場、レクリエーションの場として利用されています。

これらの緑地をまもるとともに、緑地につながる道路や施設の緑を増やし、緑豊かな環境をつくりまします。



清洲城遊歩道

公共施設の 緑を活かし、増やす

校舎のまわりのスペースなどを活かして、花だんを設置したり、四季折々の花を育てたりして、花への愛着を高めていきます。

緑のカーテンなどで壁面を緑化するなど、公共施設の緑を増やすことで、緑が持つ機能アピールします。



清洲中学校の花だん

民有地[※]の 緑を活かし、増やす

工場などの敷地内にある緑地の一般開放を進め、地域のイベント時などに活用します。

会社やお店に積極的にはたらかけることで、民間主体による自発的な緑地の保全・整備を進めます。



企業緑地（明電舎）

※：民有地とは、個人や会社が持っている土地のことです。

とりくみは？

心をはぐくむ活動

緑の環境学習活動を 進める

学校内に、ビオトープや水生生物などを観察するための水槽を設置するなど、生物観察のための環境を整備します。

水と緑にふれあう機会をつくり出し、学校などへの出前講座の実施などを通じて、環境学習を充実します。



環境学習活動のようす

水辺の環境学習活動を 進める

水辺の自然や野鳥の観察が行える環境の整備や、河川敷での体験型環境学習などさまざまな活動に取り組みます。

流域内で取り組む活動などを積極的に支援して、将来に向けて河川環境をまもります。



朝市 × 水辺の環境学習活動

緑化活動に 参加しやすくする

小中学校への苗の配布や植樹イベントを行うなど、子どもたちが植物とふれあう時間を増やし、緑に対する親しみをはぐくみます。

公共空間の管理者や関係者と協力して、さまざまな立場が参加できる活動を支援します。



小学校での植樹のようす



ポイント

市民・事業者・行政が「協働」して進めることが大切です。

緑をめぐる、人々が大切だと思ふことや、必要としていることは、時代とともに変わってきています。こうした中で、めざすまちづくりの実現のためには、市民・事業者・行政といったさまざまな人たちが参加し、お互いの力を活かしながら、対等な立場で協力していくことが重要です。

こうした関係を「協働」と言います。



●「協働」による活動例：アダプト・プログラム

アダプト・プログラムとは、地域住民や企業が道路や公園などの公共空間を「養子」に見立て、「里親」として長い期間にわたって世話をする活動で、行政が支援する「市民と行政の協働によるまちづくり」の仕組みです。



アダプトの活動「青空の会」



考えてみよう 調べてみよう 動いてみよう

➡ この冊子をもういちど読んで、考えてみてください。

Q1 あなたの身近にある「緑」は、どんな役割を果たしていますか？

.....
あてはまるものに✓をつけて、理由を書いてみよう。

生きものの命をまもる

住みやすいまちをつくる

まちの安全をまもる

美しいまちをつくる

Q2 もしも、あなたの身近な緑がなくなったら、
あなたの暮らしはどう変わるとおもいますか？

.....
良くなると思うこと／こまると思うことを考えてみよう。

○ 良くなること：

× こまること：

Q3 清須市の「緑の基本計画」は、
どんなまちづくりを目指しているとおもいますか？

.....
大切だと思った言葉を3つ選んで、そう思った理由を書こう。

(1)

(2)

(3)

のまちづくり」

➡ まわりの人にきいたり、インターネットで調べたりしてみてください。

Q4

いまある緑をまもるだけでなく、これまでより
緑が豊かなまちにするために、どんなことができるでしょうか？

Q5

暑さや寒さ、災害などから暮らしをまもるために
緑を活かすとしたら、どんなことが考えられますか？



Q4 や Q5 のような考え方には、専門的に使われている名前があります。
気になる人は、調べてみましょう。

➡ あなたにできることをしてみましょう。

Q6

清須市の緑のまちづくりのために、
あなたが今日からできそうなことは何でしょうか？

公園に行ってみる／家の人と話す／植物を育てる など、できることを考えてみよう。

清須市の緑のまちづくり

[清須市緑の基本計画 2026 ~ 2034]



清須市建設部都市計画課 2026年3月発行
問合せ：052-400-2911（代表）

「清須市の緑のまちづくり」について、もっと知りたい人は…
https://www.city.kiyosu.aichi.jp/shisei_joho/keikaku_shisaku/kobetsu_bunyabetsu_keikaku/kiban_seibi/midori_kihon_keikaku.html

